

# 大田・原発ゼロ署名宣伝行動

## 9月3日 蒲田駅西口、11団体・40人の参加

今回のとりくみは、城南保健生協「くらしと平和委員会」で、日本から原発をなくすために行動を起こすという視点で、大田区の団体・会社・個人など原発ゼロに賛同できる方々と一緒に



横断幕を見て賛同し、署名する方も

署名宣伝行動をすることを確認し行われました。当日は、11団体（大田区職員労働組合、大田労連、大田区労働、大田生活と健康を守る会、東京南部生協、大田革新懇、蒲田民商、南部合唱団、城南福祉医療協会、城南医薬保健協働、城南保健生協）40人が参加し、15時から約3時間リレートークを行い、署名を呼びかけました。横断幕には「このまま原発を残すのか、原発をなくし自然エネルギーへ転換するのかが問われています」の文字が



蒲田駅前に署名の列、南部合唱団は平和のうたも

日本全国のあちこちから原発ゼロの声をあげ、その世論を無視できない雰囲気をつくっていくことが大切です。大田区でも今後大きな運動にし、今回で終わることなく、引き続きとりくみを強めていきたいと思えます。

## 大田と品川で反核そして平和への願いをこめて

### 西品川支部反核フェスティバル

平和の夏。原水禁世界大会に向けて、西品川支部では今年も7月26日(火)に反核フェスティバルを三ツ木診療所の屋上で行い、職員・地域の組合員さんあわせて60人が参加。



品川音頭を参加者全員で

世界大会に派遣される三ツ木診療所職員の長沢さんの紹介あいさつをはじめ、新しい職員の紹介の後、組合員さんによるコカリナ演奏、マジック、ハワイアンなどが披露され、冷たいビールなどの飲み物と料理を食べ、楽しく過ごしました。そして、8月30日(火)には、世界大会

の報告会を三ツ木診療所で行い33人が参加。代表の長沢さんが大会の様子を報告しました。今年の世界大会は、やはり福島原発事故を反映し、原発問題が関心を集めたようです。報告の後、参加者で戦争体験などを交流。疎開の経験、両親を



世界大会の報告をする長沢さん

豊支部でも、8月27日(土)に反核ビアパーティーを開催し45人が参加。代表の長沢さんが報告しました。今年の世界大会は、やはり福島原発事故を反映し、原発問題が関心を集めたようです。報告の後、参加者で戦争体験などを交流。疎開の経験、両親を

### 豊支部反核ビアパーティー

大田では8月2日(火)に反核フェスティバルを行いました。世界大会へは大田病院・大田歯科・大森薬局から7人の代表が派遣されました。毎年、世界大会の実行委員会

### 大田反核フェスティバル

が参加。豊支部からは世界大会に代表を派遣しなかつたため、長沢さんの報告を聞き、その後ゆたか診療所の権守所長に福島原発事故との関連で放射能問題についてのミニ講演をしてもらいました。こちらでも、ビールや料理に舌鼓を打ちながら、素人落語マジックなどで楽しく過ごしながらも、平和への思いを新たにしました。

# 核兵器のない平和で公正な世界を

## ～原水爆禁止2011世界大会～

今年も長崎の世界大会(8月7日～9日)に、3人の組合員(品川代表団)が参加しました。城南ドルフィンからは、川上コーイチと近野翔太くん(火

### 世界大会に参加して

城南ドルフィン 川上 圭 輔

城南ドルフィンでは、水泳だけでなく平和についても考えようということで、毎年1人以上を広島・長崎の原水爆禁止世界大会に派遣しています。今年も長崎の世界大会に、火曜コースの翔太君と参加しました。

1年で最も暑さの厳しい時期ですが、台風の影響もあり、時折雨が降る3日間でした。

### 原爆遺構めぐり

大会2日目の分科会は原爆遺構めぐりに参加し、新興善コースをまわりました。前半に原爆

曜コース)、西品川支部からは、三ツ木診療所事務長の長沢さんが行ってきました。川上さんと長沢さんからの報告です。

資料館をまわって、原爆の被害や恐ろしさなどを学習します。後半はコースの名前にもなっている、新興善小学校での救護活動の話やその近くで被爆された方にも当時のお話を聞くという内容です。

新興善小学校では原爆投下時の被害は少なかったため、救護所としてけがをした人びとが次々に運び込まれたそうです。手当てといっても医療器具や

医薬品などあつという間に底を突き、煮沸消毒した海水を患部にかけて、身体中にいたウジ虫を流すことくらいしかできなかったそうです。手当ての甲斐なく亡くなってしまった方は、次々に校庭で茶毘に付されたそうです。広島の時も似島(にのしま)という島で同じような光景があったことを学びました。こちらでも想像を絶する光景がくり広げられたとのことでした。

### 被爆体験者のお話

小学校の校庭で虫取りをしていた時に被爆した大塚さんのお話を聞きました。大塚さんが被爆体験を話すようになったのは、ここ2、3年とのこと。ほとんどの被爆者の方々は、原爆



平和祈念像



原爆遺構めぐり

## 希望の未来

西品川支部 長沢 伸彦

原爆投下から66年目を迎えた今年、はじめて原水爆禁止世界大会in長崎に西品川支部の代表として参加しました。とくに今年には東日本大震災と福島第一原発の原発災害(明確な人災)を日々の暮らしを無差別に一瞬

にして奪う核兵器。そして、何十年も続く放射能の被害。子どもたちのために核兵器も原発もない社会を一日も早く...と願わずにはいられない大会でした。大会会場に立ち寄った原爆資料館。館内には多くの少年・少女が真剣なまなざしで解説者の話を聞いていました。ここに希望の未来がありました。